



## 夢ある街のたいやき屋さん 若松町店

## コミュニティカフェゆめたい



茅ヶ崎市初の就労継続支援A型事業「夢ある街のたいやき屋さん若松町店」とボランティアの市民グループ「コミュニティカフェゆめたい」がスペースをシェアしながら、共に時間を過ごし、10周年を迎えました。それを記念して子供たい焼き体験&たい焼きデコレーション体験を11月17日(日)に開催しました。



デコレーション  
体験中!



あんこを入れて!  
上手!上手!

今回は、地域との交流を続けているコミュニティカフェゆめたいで、ボランティア(収益の封入など)を続けている発達障害者の方にインタビューをさせていただきました。

**Q** ボランティアのきっかけ・目的は?

**A** 8年前に就職活動(注:現在は就業中)をする中で、事務作業の訓練のつもりで始めました。また、翔の会やコミュニティカフェを通じた人脈づくりも目的のひとつです。

**Q** やりがいや楽しみは?

**A** コミュニティカフェゆめたいの小箱ショップに出店している方々の作品を見て、自分自身も副業や作品づくりをしてみたいという新たな目標が生まれました。

これからも私たちは、地域社会の一員として、10年前の想いを大切にしながら、ここに集う方々や地域社会とがお互いにいい意味で刺激し合えるよう、原点に戻って進んでいきたいと思ひます。

Trick or Treat!!

# HALLOWEEN

## 特集

### 特別養護老人ホームゆるり

10月29日(火)ゆるり・うーたん保育園合同でハロウィンイベントを行いました。当日、「ハロウィンをしますよ」と伝えましたが、入居者の皆さんは「なんだろう??」といった表情をされていたので、「子どもたちが来ますよ」と伝えると、「子どもたちが来るの!?楽しみだね〜」という言葉が聞かれました。

### うーたん保育園

保育園の子どもたちが直前になって、衣装を作り直すということがあります。到着が遅れてしまいました。しかし、かわいいハロウィン衣装の子どもたちに皆さんメロメロで、あちこちで「かわいいね〜」と沢山の笑顔が溢れていました。おやつを渡したカードを渡したお礼に子

どもたちから折り紙をもらい、とても喜ばれました。嬉しさのあまり、感動して泣いてしまったお年寄りの方もいました。今回のハロウィンイベントで、沢山の「笑顔」と「ありがとう」で全体が包まれていました。



### ちがさきの木魂

10月31日(金)ちがさきの木魂でハロウィンイベントを行いました。スタッフは朝から帽子や着ぐるみで仮装して利用者を迎えに行きました。送迎車から降りたスタッフに利用者やご家族は驚き、笑顔で迎えてくれました。午後には利用者も仮装をして1階と2階の活動部屋を歩きまわってお菓子を渡し合いました。利用者は自分の仮装を楽しんだり、普段と違うスタッフの姿に戸惑ったりと様々な反応をされ

ていました。また、近隣ではラチエン通り商店会主催のハロウィンイベントが行われていました。利用者4名とスタッフ3名で仮装をして加盟店を訪れ、お菓子ももらって木魂に戻ってきました。地域の方々ご協力ありがとうございました。



みんなで仮装したよ!!

大盛況!



### 水平線

10月27日(日)にハロウィンパーティーのイベントを行いました。今年度は、魔女やかぼちゃ・ジャスミン・ドラえもん・ポケモン等、様々なキャラクターに仮装した利用者・スタッフがイベントに参加しました。午中には衣装に着替え、写真撮影やパ

ンケーキ作りを行い、午後は利用者が歌「津軽海峡冬景色」「水平線は家族だもん(水平線の利用者が作詞したオリジナルソング)」と劇「桃太郎」を披露しました。スタッフも話題のお笑い芸人のネタを披露し、大盛況でした。第4回目となりますが、回

数を重ねることに利用者・スタッフのやる気と仮装や飾り付けのクオリティーがアップしているイベントです。渋谷のハロウィンに負けないくらい盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。



### 入道雲

入道雲ではこの時期、ユニットを飾りつけ、仮装し、お菓子を配布していますが、今年は美術の先生に来ていただき顔や手にペイントを行いました。ハロウィンイメージしたカボチャ・コウモリ・黒猫だけでなく、ハートや花の飾りもあり、趣向を凝らした様々なアートに利用者は新鮮な表情をしていました。また、ハロウィンといえばお菓子が楽しみなので、仮装しながら日中活動場所を巡りお菓子

……ではなくピザ、おでん、焼きそば、ジュースを食べました。仮装も定番のジャック・オランタンや吸血鬼もいれば、変わり種としてクマの着ぐるみや巫女さんなどがあり、面白くて笑っていたり怖がっていたり、利用者、スタッフ共に大に楽しみました。





## 実践発表会の報告

2019年7月に初めての試み、ミニドキュメンタリー映像形式の実践発表をラスカホールで行いました。まずは参加された皆様から寄せられた感想より抜粋した“きらきらワード”を紹介します。

「思いを形に」から、  
「うちの娘の将来、親亡き後の不安に光が差しました」  
「自然体がよく伝わりました」  
「“心の中を出してほしい”の言葉は支援する人される人と言う関係性を超えている」

「ステップアップ」から、  
「自ら考え行動している、どこからこの力が湧き出ているのでしょうか？」  
「本人に任せるところと支援するところのバランスがとても良い」  
「理解者がこれからも増えていくと良いなと思いました」

「答えは私の中にある」から、  
「映像の始まりの時間の流れ方がとても良かった」  
「表情の豊かさや可愛らしさに引き込まれてしまいました」  
「本人のベースがよくわかり職員の工夫がリアルに判って映像っていいですね」  
「会ってみたいなと感じました」

今年度は、「誰もが地域で暮らせるために」の理念をベースにコンセプトを作りました。単なる事業所やスタッフの実践を伝えるのではなく、そこに関わって生きている一人の人、その人自身のストーリーを伝えること、そのストーリーにどのように私たちが関わっているのか、そのプロセスから見てきたことを実践として地域へ情報を発信していく事を中心に考えました。事業所の取材をしていた矢先、仙台の法人が行っている映像を使った実践発表を見て、映像が伝える力に衝撃を受け、私たちも映像で発表をすることにしました。メンバーとご家族、映像制作工房ペンギンフィルムのカも借り、実施することができました。まだまだ多くの課題はありますが、地域の人とその人に「会ってみたいな」と自然に思える発表を続けて、「理解者がこれからも増えていくと良いな」という思いを地域に広げて行きたいです。



水平線

### 思いを形に

水平線からN氏が「思いを形に」と、施設に暮らしていても自分らしくやりたいことを実現している姿をインタビュー形式でDVDに収め発表しました。施設ではスタッフとマンツーマンで過ごす機会は介助以外ではほとんどなく、やりたいことがあってもなかなか出来ないことが多いのですが、「一年に一度でいいから、スタッフが自分のために手伝ってくれる日を作って欲しい」という提案に、実現したフリープランという企画を紹介しました。外出や部屋の片づけなど普段できないことをスタッフが一日支援します（お手伝いします）。「これがやりた

い！」「ここに行きたい！」など利用者のエンパワーメントが引き出され、スタッフが伴奏する。もっとやりたいという気持ちが強くなることで、スタッフだけでなくボランティアさんとの関わりにつながればと思います。また、N氏は「住みやすい水平線になるために」をテーマに、利用者同士が話し合うフレンド会（自治会のような場）でも建設的な意見を活発に出して下さっています。利用者さん達が「自分たちの施設は自分たちで作る」との思いを叶えられるように、スタッフも一緒に目指していきたいです。

カフェカレッタカレッタ

### ステップアップ

カフェカレッタカレッタでは「ステップアップ」をテーマにしたTさんの実践を発表しました。ご本人が力を注いでいるカフェカレッタカレッタの営業活動（チラシ配り）や接客場面など普段の様子分かりやすいようにインタビューを交えた映像を制作し、ご本人だけではなくご家族も撮影に協力してくださいました。普段からアイデアマンとして、店内のメニュー表示や宣伝活動に様々な意見を提案してくれるTさんですので、今回の映像化にあたり「こんな場面は撮影しなくて大丈夫ですか」「今日は車でチラシを配る予定です」などと積極的に撮影プランを出してくださいました。ご自身の頑張りを皆に見てもらえる機会が本当に嬉しいん

だなと実感し、今まで以上にしっかりと「すごい！頑張ってますね！」と伝えていかないと…改めて気付くことができました。ご両親のインタビューでも「僕がいない方がいいでしょ」と席を外されていたので、当日の映像でご両親の気持ちや想いを知り、照れ笑いをしていたのが印象に残っています。最後のショットで、ご本人たっの希望であるコーヒーを淹れる場面を使いました。何度も練習を繰り返し、「美味しいコーヒーを淹れる」を目標に頑張っている姿がパッチリと収められていました。

皆さん、Tさんの淹れる美味しいコーヒーを飲みにかフェカレッタカレッタに遊びにきてください。

ちがさきの木魂

### 答えは「私」の中にある

言葉でのコミュニケーション、意思疎通が困難なOさんへの支援で、“食事”を中心にご本人の生き方を映像にまとめて発表しました。湘南鬼瓦（生活介護）から新設されたちがさきの木魂に移ってきて4年。湘南鬼瓦から関わってきている特定の好きな男性の職員の支援でした。食事食べてもらえないという課題があったOさん。ちがさきの木魂では“ご飯を完食することを目標にはせず、誰とでも楽しく食事を目標にしよう”ということで、楽しく食事するにはどうすればいいか？考えながら、食事だけではなくちがさきの木魂での生活

も豊かにしていきたいという想いで支援に取り組みました。

ご本人はとても表情豊かで、好きな職員の後について行って笑顔でコミュニケーションをとっていたり、職員の前へ自らボールを持って行ってボール遊びに誘ったり、嫌な時は「アレ？イヤ」と言って気持ちを周りに伝えてくれます。

実践したことでOさんを中心に職員が協力して課題に向き合うことができました。ご本人の気持ちを大切にしながら今後も支援していきたいと思えます。



# 湘南バリアフリーフェスティバル

## 2019年



湘南バリアフリーフェスティバル 2019が茅ヶ崎公園体験学習センターうみかぜテラスにて9月22日に開催され、特別養護老人ホームゆるりの入居者2名が参加しました。このイベントは、障害者を含め、こどもからシニアまで、たくさんの方が「美容」や「ファッション」を通して繋がり、喜びなどをこの湘南で分かち合えたらと願う障害者モデルのファッションショーです。翔の会からは昨年に続き2回目の参加でした。当日は10時に楽屋入りし、プロのメイクアーティスト、美容師やデザイナーに囲まれて普段とは違う1日を過ごしました。参加者の女性は、以前にデパートのモデルをしていたこともあり、お話しすると「出るわ!」と二つ返事をされました。現場に入ってから当時は思いつきささめるかのような落ち着いた表情でメイクや衣装を着こなし、普段の生活では見せない女優のような立ち振る舞いをされていました。もう一人の参加者の男性は日本人離れした彫りの深い顔立ちで、メイクさんから「化粧が似合うお顔をされていますね」と言われてニコッとされたり、符合室での他の参加者との会話では、いつも見せない笑顔をされていました。このイベントに参加して「心が動けば体も動く」ことを改めて実感し、日々の生活の豊かさに繋げていきたいと思いました。

大成功!!



## 笑顔でつながる フェスタ翔



今年のフィエスタ翔は11月9日に開催しました。今年からは会場が茅ヶ崎中央公園に替わり、少しリニューアル。ユニバーサル音楽祭と同日のコラボ開催で、茅ヶ崎駅周辺はお楽しみ満載でした。ステージは、つるかめ社団やダンスサークルフラッシュなどの当事者のサークルの発表の他、元気いっぱいのダンスが披露され盛り上がりしました。今回初めての取組みで、福祉に関する情報提供を、と福祉機器の展示とユニバーサルスポーツの体験会のコーナーをつくりました。特にスポーツ吹き矢のコーナーはお子さんで大賑わい。力いっぱい吹いて的あてを楽しんでいました。福祉機器の展示はいつもお世話になっている3社のご

協力により、レクリエーション機器やベッド、食事用品などをいろいろ展示していただきました。普段直接目にふれることがないものも多く、たくさんの方が足を止めて、手に取ってあたり体験したりと、こちらも好評でした。模擬店の店舗数も少し増え、特に先日開店したばかりの「茅ヶ崎ベーカリー」のパンが好評。「できるだけたくさん」と思って焼いたたくさんのお昼過ぎには完売する賑わいでした。天候にも恵まれて多くの方に足を運んでいただくことができ、今年のテーマ通り「笑顔でつながる」1日となりました。ご来場、ありがとうございました。



## 茅ヶ崎ユニバーサル音楽祭2019

～ NO BARRIER ★音楽で輝く湘南～  
誰もが街の表現者 奏でよう・踊ろう!  
障がいがあってもなくても茅ヶ崎に愛と夢と希望を

「音楽の力で、だれもが暮らしやすいユニバーサルな社会と、元気な茅ヶ崎を目指して行うストリートライブ形式の音楽祭」も今年で14回目を迎えました。「ペDESTリアンデッキ」、「イオンスタイル湘南茅ヶ崎」、「CHIGASAKI B'Z-Nas」の計3会場で開催しました。翔の会からは飛行船が参加し、ハンドベルの演奏をしました。少し寒くはありましたが、天候に恵まれ、フィエスタ翔との同日開催のおかげで、例年より多くの方々に賑わいました。障がいの有無に関わらず、子どもから大人まで皆で楽しみ、街が音楽やパフォーマンスで溢れ、茅ヶ崎を盛り上げる1日となりました。



# 後援会より



## 翔の会后援会とは？

「誰もが地域で暮らせるために」の理念のもと、幅広い事業展開をしている「社会福祉法人翔の会」の活動を支援するために生まれました。後援会では、この主旨に賛同頂ける多くの方々が集い、イベントやバザーに参加して収益活動をしています。施設でのボランティア活動の活性化にも努めています。

## 会員になるには？

入会申込書に記入して会費の納入をお願いします。  
「空と海」(茅ヶ崎市芹沢786)の後援会事務担当者に直接渡していただくが、郵便口座(00220-2-75228)へ払い込み下さい。

個人会員	(年額)	1口	3,000円	1口以上
法人会員	(年額)	1口	30,000円	1口以上
利用者本人会員	(年額)	1口	5,000円	1口以上
利用者家族会員	(年額)	1口	5,000円	1口以上

詳しくは  
後援会事務局 「空と海」 海野・塚原まで

TEL 0467-54-5424  
FAX 0467-54-5498

## フィエスタ翔に

## 出店をしました

11月9日(土)に茅ヶ崎中央公園で開催されたフィエスタ翔に出店をしました。  
当日は、衣類や雑貨などを販売し、94,652円を売り上げることができました。  
足を運んでいただいた皆様ありがとうございました。



## 小俣夏乃さんの

## 講演会を開催します

アーティスティックスイミング選手  
(リオデジャネイロオリンピックチーム銅メダル)  
小俣夏乃(おまたかの)さんの講演会を開催します

日時：令和2年2月23日

※詳しくは、後日、翔の会ホームページにてアップいたしますので、お楽しみにお待ち下さい。

## 編集後記

久しぶりの日曜休み。「よし!今日の昼飯はおれが作った!」と家族に宣言!!何を作るにもめんつゆさえあれば何とかできるのだが、この日に限って…ないじゃあないと近所のお店まで。しかし店頭には並んでいたのは、「昆布だしのつゆ」と「カツオだしのつゆ」。見た目どちらも同じ色だし値段もいっしょで198円。今までめんつゆなんてみな同じ!!と思っていたアタクシ。昆布は

「海草」だし、カツオは「魚」だし(汗)。むむむ…裏のラベルの原材料見たり、スマホで検索してみたりと悩む事15分。結局、両方大人買い?あ、ちなみにその日に作ったのは「そーめん」なんですけどね(笑)。じゃあ、とんかつソースと中濃ソースの違いは?渋柿は必要?ホットキスの正式名称って?ではでは… (Y.N)

発行責任者/社会福祉法人「翔の会」理事長・河内智恵子  
〒253-0005 茅ヶ崎市芹沢786番地

【TEL】0467-54-5424(代) 【FAX】0467-54-5498 【URL】http://www.syonckai.jp